

【事業名】

第 131 回企画展「木と木の実の考古学～縄文時代の低湿地遺跡と植物の利用～」

【団体名】

栃木県立博物館

【期間】

令和 3 (2021)年 10 月 9 日 (土) ～同年 11 月 23 日 (火・祝)

【参加人数】

17,572 人

【内容】

縄文時代の低湿地遺跡から見つかった木製品を中心に展示して、縄文時代の新たな一面を紹介いたしました。展示は一般的な縄文時代のイメージを喚起させる土器と石器といった資料に始まり、木の実利用関連の資料、住居関連の資料、丸木舟関連の資料、漆関連の資料、縄文時代以降の木と木の实利用という構成でした。全体的に図や写真を多く展示し、解説文を読まなくとも楽しめるようにしました。また、遺構の原寸大の写真を貼った床の上を歩いて体感してもらうなど、直感的に分かりやすいような展示も行いました。

当館ではバリアフリー化や、常設展示（企画展と同時に観覧可能）の多言語化を実施しています。

